

高志の国文学館企画展

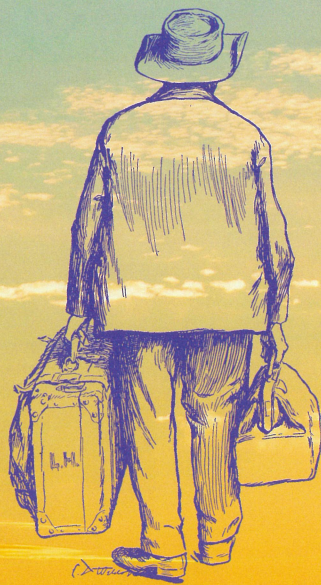
生誕170年

# ラフカディオ・

# ハーソンの

# 共感力

発見、探求、そして発信へ



2020年4月11日(土)～6月22日(月)

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで) 休館日／毎週火曜日、5月7日(木) ※5月5日(火・祝)は開館  
観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般は320円〔お求めは高志の国文学館、アーツナビで〕

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

主催／高志の国文学館 共催／国立大学法人富山大学、北日本新聞社 後援／NHK富山放送局  
特別協力／小泉家、小泉八雲記念館、松江市立中央図書館、焼津小泉八雲記念館、池田記念美術館、富山八雲会

高志の国  
文学館  
KOSHINOKUNI  
Museum of Literature



# ラフカディオ・ハーンの共感力

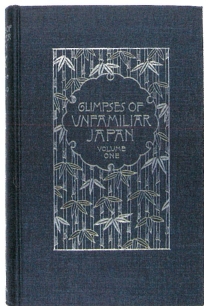
発見、探求、そして発信へ

「耳なし芳一」「雪女」「むじな」など、私たちにとってなじみ深い怪談の作者であるラフカディオ・ハーン(1850~1904)。日本人女性と結婚して「小泉八雲」と名乗ったことでも知られています。

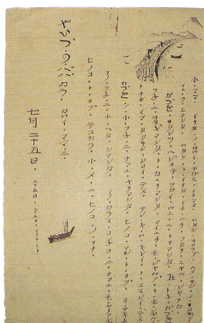
母の国ギリシャで生まれ、父の国アイルランドで幼少期を過ごし、アメリカで新聞記者として文筆活動を始めたハーンは、40歳になる明治23年(1890)に初めて来日し、亡くなるまでの14年間に、紀行文、随想、文化論、民間伝承や古典に基づく再話文学など、日本に関する数々の著作を残しました。そこには、日本での生活を通じて日本の文化・習俗・精神を発見していった彼の、作家としての鋭い観察眼がうかがえると同時に、異文化や他者への温かい共感力が息づいています。

本展では、自身の体験に基づく日本文化論、日本の物語をもとにした文学作品、日本の学生たちに語った文学論等を通じて、開かれた精神をもつハーンの、共感力豊かな文学の世界を探ります。あわせて、富山大学が所蔵するハーンの貴重な蔵書《ヘルン文庫》についても紹介します。

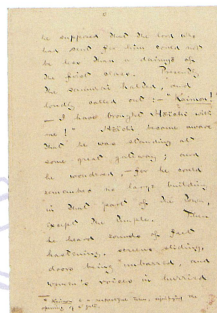
「知られぬ日本の面影」  
(松江市立中央図書館蔵)



八雲からセツ宛書簡  
明治34年7月25日(焼津市蔵)



「日本二つの解明(神国日本)」原稿  
(富山大学附属図書館ヘルン文庫蔵)



「耳なし芳一」の話「草稿」  
(松江市立中央図書館蔵)



チェンバレンとハーンの  
往復書簡を装丁した冊子  
(高志の国文学館蔵)



愛用のトランクとポストバック  
(小泉八雲記念館蔵)



愛用の本棚  
(高志の国文学館蔵)

## 関連イベント

### 1 記念講演「オープン・マインドで見た日本の美」

講師 / 小泉凡氏(小泉八雲記念館館長、焼津小泉八雲記念館名誉館長)  
日時 / 4月11日(土) 14:00~15:30  
会場 / 当館研修室101  
◎参加無料 ◎申込必要 ◎定員72名

### 2 関連講座「ラフカディオ・ハーンの共感力 —『日本の面影』を旅する—

講師 / 池田雅之氏(早稲田大学名誉教授)  
日時 / 4月26日(日) 14:00~15:30  
会場 / 当館研修室101  
◎参加無料 ◎申込必要 ◎定員72名

### 3 関連講座「ライブ ハーン先生東大講義 —日本文学の未来のために—

講師 / 吉田泉氏(富山県芸術文化協会名誉会長)  
日時 / 5月5日(火・祝) 14:00~15:00  
会場 / 当館研修室101  
◎参加無料 ◎申込必要 ◎定員72名

### 4 関連講座「ラフカディオ・ハーンとフランス文学」

※大学連携講座  
講師 / 中島淑恵氏(富山大学人文学部教授)  
日時 / 5月16日(土) 14:00~15:30  
会場 / 当館研修室101  
◎参加無料 ◎申込必要 ◎定員72名

### 5 記念イベント「語り琵琶 耳なし芳一」

出演 / 伊藤哲哉氏(俳優、語り琵琶)  
日時 / 5月23日(土) 14:00~15:10  
会場 / 当館研修室101  
◎参加無料 ◎申込必要 ◎定員72名

【申込方法】 電話・FAXにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。  
※定員に達次第募集を終了します。※FAXの場合、定員に達してご参加いただけない場合のみ当館からご連絡いたします。

### 6 関連講座「小泉八雲はなぜ富山に」

出演 / マリ・クリスティニス氏  
(東京女子大学特任教授、元国連ハピタット親善大使)  
日時 / 5月30日(土) 14:00~15:30  
会場 / 当館研修室101  
◎参加無料 ◎申込必要 ◎定員72名

### 7 紙芝居① / 紙芝居+朗読②

出演 / 富山八雲会  
作品 / ①「おだんごをなくしたおばあさん」「むじな」  
②「若返りの泉」(紙芝居)  
「耳なし芳一の話」「おしどり」(朗読)  
日時 / ①5月9日(土) 14:00~15:30  
②6月13日(土) 14:00~14:00  
会場 / 当館ライブラリーコーナー  
◎参加無料 ◎申込不要

### 8 テーマ別ミニ解説「ハーンこぼれ話」

出演 / 富山八雲会  
テーマ / ①「ハーンに語った女性たち」  
②「明治のお雇い外国人の共感力」  
③「科学者? ハーン」  
日時 / ①5月9日(土) ※紙芝居終了後に行います。  
②・③6月6日(土) 14:00~(30分程度)  
会場 / 当館ライブラリーコーナー  
◎参加無料 ◎申込不要

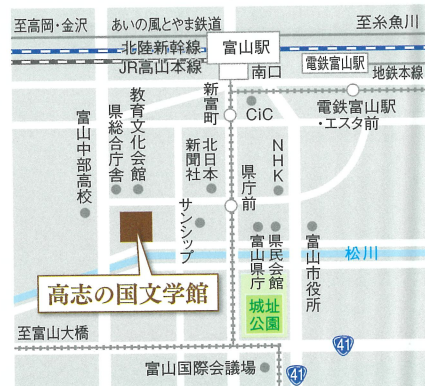
### 9 担当学芸員によるギャラリートーク(展示解説)

日時 / 4月26日(日)、5月16日(土)、  
6月13日(土)のイベント終了後に行います。  
会場 / 当館企画展示室  
◎要観覧券 ◎申込不要

## 高志の国 文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22  
TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490  
http://www.koshibun.jp/



### 利用のご案内

〈開館時間〉9:30~18:00(観覧受付は17:30まで)  
〈休館日〉毎週火曜日、5月7日(木) ※5月5日(火・祝)は開館  
〈観覧料〉一般400円(320円)、大学生200円(160円)、  
前売り・一般は320円【お求めは高志の国文学館、  
アツナビで、文学館受付にてチケットに引き換えます。】

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

### 交通のご案内

- JR・あいの風とやま鉄道 富山駅南口から / ◎市内電車「富山駅」のりばから大学前または環状線「県庁前」下車、徒歩5分 ◎徒歩15分 ◎コミュニティバスまいどはや(中央ルート)「サンシップとやま・高志の国文学館」下車、徒歩2分 ◎ぐるっとBUS(北西回りルート)「高志の国文学館」下車
- 富山空港から / ◎タクシー 約20分
- 北陸自動車道富山ICから / ◎自動車 約20分

### 次回企画展予告

国際アンデルセン賞受賞記念 角野栄子展  
—「おばけのアッチ」から「魔女の宅急便」まで—(仮称)  
2020年7月5日(土)~9月7日(月)

